

2010年度 ふりかえり号 2011年4月1日発行

## 2010年度 ふりかえり号

『あの手この手』2010年度は8回発行しました。  
あんなこと、こんなこと、ふりかえてみました。

「あの手この手」の表紙で1年をふりかえり

「ありがとう和の輪」の“趣ほのぼの絵師あずみ”、“格闘詩人ちゃんぶ”、“楽書き詩人ひそか”の3人の絵が登場。



### 2010年10月登録団体交流会特集号



「名刺交換」: 望月則男  
自己紹介は、ジャンケンで勝ったら名刺に○を、負けたら×を書いて交換。×が6枚たまったら席に着く。盛り上がりました。

### 2010年12月カッコーフеста'10特集号



「スタンプ ポン！」: 望月則男  
スタンプラリーは全部まわると「きよてんやまと」に。完成したら「カッコちゃんスタンプ」を押してもらえる。

42、43、44号は体操の練習中の怪我が原因で、首から下の自由を失ってしまった金子寿さんが口に絵筆をくわえて描いた詩画に、ご本人からのメッセージを載せました。





よくぞ続いてきた連続共育セミナー

第**30**回連続共育セミナー 4/24(土) 開催  
**「活かそう！携帯電話でひろがりの輪 つながりの手」**  
 ～事業者が参加する「新しい公共」PART1～

- ・振り込め詐欺の実態を知って、トラブルに巻き込まれないための対策を聞きました。
- ・災害時のiモード災害用伝言板サービスの利用の仕方を学びました。
- ・緊急速報「エリアメール」の存在を知りました。



センターのシンボルツリー 春の大イチョウ



第**31**回連続共育セミナー 5/22(土) 開催  
**「市民活動センターのきのう、きょう、あした」**  
 ～よりよい「センター」をめざして～

携帯電話が文字や映像をやりとりするコミュニケーションだけではない、全世代の欠かせない「道具」になっている。これを活用してコミュニケーションを豊かにしていく、その学びの場を提供していくなかで、「事業者が参加する「新しい公共」のカタチ」や課題が見えてくるのではないかとというセミナーになった。

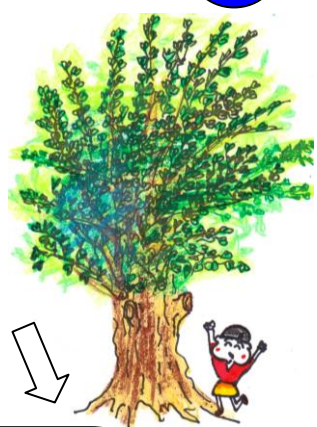


今里鐵男さん

第**32**回連続共育セミナー 6/24(木) 開催  
**「もしものときに、パニックにならないために」**

私たちが海に出る時は、危機管理意識を持ち、①ライフジャケット着用。②防水用携帯電話の持参。③「118番」を覚えておく。

この3つだけを守ることで、事故が未然に防げることを知りました。パニックにならないためには、「反復訓練、再確認、意思疎通」といった、日常の訓練が必要です。



夏の大イチョウ

第**39**回連続共育セミナー 3/29(火) 開催  
**「ちょっと使ってみようかな」～IT導入の利点～**

とっつき難いITやライラするプログラム。実際にマイクロソフト(パワーUPセミナー)のテンプレートやPC機能を使って楽しい講座を企画しました。一部内容を変更して、今回の大惨事に関連した「輪番停電」(老人会「福寿会」使用)の分かり易い検索プログラムも画面でやってみました。煩雑な日頃の作業に今回のセミナーが改善のヒントとなればと思いました。

第2回大和市民活動センター  
**登録団体交流会**  
 ～ひろげよう 市民活動の「わ」～



団体交流会のキャラクター ピーチクパーチク

9/11(土)開催

オープニングは「やまといきいき健康体操」。複雑な指の運動は頭の体操。名刺交換はジャンケン挨拶。おおいに盛り上がりました。真剣に相手のことを聞かなければならぬ他者紹介。テーマごとに分かれての話し合いでは、お互いの活動にアドバイスも。ピーチクパーチク賞は会議室1時間の無料券。「参加してよかった」の声がたくさん聞かれました。

第6回やまと国際交流フェスティバル  
**「KK劇団」デビューしたかったな**

3/20(日)開催予定の交際交流フェスティバルの準備で関東学院大学の学生ボランティアサポーターの皆さんが事前準備で何回も来館。「いっぴきチュー」の人形劇を英語と中国語バージョンでの練習を重ねたのに、3/11(金)の大地震のために中止となってしまい、ほんとうに残念。

第**33**回連続共育セミナー 7/24(土) 開催  
**「親子、兄妹で似顔絵 描きこしよう」**  
 ～笑顔で伝えるあなたの愛情～

「似顔絵なんて描けない」と思っていたのに、似顔絵を描く基本を教えていただいて、「おー、こんなにうまく描けた」と満足感いっぱいのセミナーだった。大切なことは「世界でたった一人、あなたのために今ここにいるよ」そのメッセージを伝えること。講師のほのぼのの絵師あずみさんの言葉。



第**38**回連続共育セミナー 2/15(火) 開催  
**「ドイツの市民活動事情」**  
 ～カールスルーエとブレーメンを訪ねて～

ヨーロッパツアーなどから帰国した人たちがよく「どの街も絵はがきみたいにきれいだった」と言う。どの街も歩いていて、気持ちがよかったです。美しい風景を守ることは幸せのひとつとする「草原の果樹保護協会」を訪ね、行政、企業と協働するその中間支援組織の実力と高い経営能力を見てきた。



村山真弓さん

**カッコフェスタ**  
 第5回大和市民活動センター  
**活動団体交流まつり**

第5回市民活動団体交流まつり  
**カッコフェスタ'10 ～活かそうひろがりの「わ」～**

11/6(土)、7(日)開催。

多様な市民活動があることを知ってもらうチャンス。参加した団体はそれぞれに工夫をしてのアピール。人と人のつながりが生まれ、さらに活動がひろがったという声が聞こえました。柏木学園高校短歌書道部の短歌をセンター内外に掲示して、たくさんの人たちに見ていただきました。詩吟も実演。大きな拍手がわいていました。

協働事業のこと、市民活動推進基金のことを説明するコーナーも設け、市民活動センターの活動もPRしました。「あの手この手」11月号の表紙を飾った金子寿さんの原画の展示をして、ポストカードの販売もして、売上げ金の10%を市民活動推進基金に寄付しました。



カッコフェスタのキャラクター カッコちゃん

電車からも見えた 吊り看板 カッコよかったね。

第**34**回連続共育セミナー 8/25(水) 開催  
**「フィルム・コミッションってなに」**  
 ～フィルム・コミッションで街を活性化させよう～  
**街すべてがダイヤの原石！**

フィルムコミッションとは、映画、テレビドラマ、CMなどのあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致して、実際のロケをスムーズに進めるための非営利な活動です。市民の目線でいろいろな場所を写真に撮ってファイルしておくことが大事で、まさに市民全員が参加するまちづくりになるのです。映像は“観る”時代から“参加”する時代、なのです。



冬の大イチョウ

第**37**回連続共育セミナー 1/26(水) 開催  
**「健康と元気はちがう」**

「元気」とは今まで大きな病気をしなかった偶然の結果であり、「健康」とはこれから大きな病気にならないようにポジティブな意識を持つこと。活性酸素は病気の90%に関与。増田愛一郎先生 悪玉コレステロールは細胞膜を造る。免疫は3日程度でできる。今後の注目として、抗加齢医学がある。また、医療にも家電を買うときのような“消費者の意識”を持つことが肝要のこと。

\* 抗加齢医学とは食事、運動、精神療法によるライフスタイルの改善を基本とし、必要に応じて薬物療法を図る



増田愛一郎先生

第**36**回連続共育セミナー 12/18(土) 開催  
**「おいしい大和を知りたい」**  
 ～知れば知るほどおもしろい大和市 part 6～

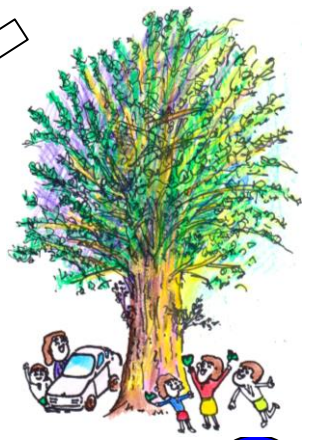
昨年に引き続き大和市の推奨品と参加者が持ち寄ったおいしいものを囲んで談笑の輪が広がりました。南輪乃声「元気会」から白プリン、「珍満」からはY-1グランプリ受賞の「やわらかホルモン炒め」が届きました。



第**35**回連続共育セミナー 11/15(月) 開催  
**「プレゼントの文化って？」**  
 ～感謝祭からクリスマスへ～

<トイズ・フォー・トッツ><Toys for Tots>とは>

US海兵隊員が10月～12月に子ども<Tots>のために玩具<Toys>を集めて、クリスマスの贈り物として分配するものです。この活動を支援するための自発的チャリティーイベントも全国的に行われます。プレゼントする側の自主的なボランティア精神と見返りを求めない体制が大切だと感じました。



秋の大イチョウ



## ☆ あれこれ 情報提供した1年 ☆

### 読まれる広報紙をめざして

[拠点やまと]が展開している事業、FM やまと出演の様子、登録団体の活動、イベントなどを隔月発行でお伝えしてきました。登録団体交流会、カッコーフェスタの特集号も発行。2011年度は毎月1日発行の予定です。

### 「早く、わかりやすく」をモットーに

広報やまと、神奈川新聞、タウンニュース大和版、リベルタ、HIT(平田自動車工業の月刊誌)をセンターの掲示板に貼り出して、情報提供しています。また、連続共育セミナー報告、FM やまと出演団体の様子も写真でお知らせしています。

### 届いていますか？ ニュースレター

毎月末にメールアドレスを登録している団体、個人、他のセンター、報道機関等に配信しています。

この度の計画停電、支援物資の受付など、号外で配信しました。

配信希望の人はセンターにご連絡ください。



### まだまだ続きます[FM やまと]出演

「大和市民活動センターだより」『やまとっこ☆みつた』に、2010年の4/6から2011年3/29までの毎月第1、第3、第5火曜日に33団体のみなさんが生出演。活動のPRのいいチャンス。出演希望の団体はセンターまで。

### 団体情報の発信には「センター」のホームページ

新たに「イベント情報」「ボランティア情報」のページを設け、センターに届く情報をより早く、よりたくさんお届けできるようになりました。トップページの「市民活動紹介コーナー」では登録団体の活動の様子を写真、動画で掲載しています(投稿をお待ちしています!)。「登録団体のお知らせ&ニュース」コーナーでも団体発の情報をお知らせしています。発信したい情報をぜひセンターまでお寄せください。

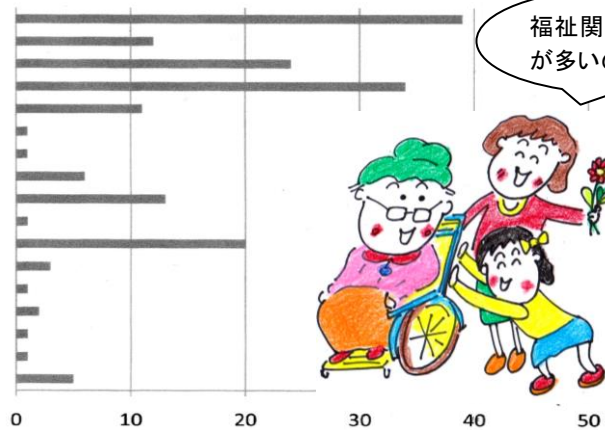
### ☆ ありがとうの1年 ☆

ボランティア活動をすることで、人の喜びを自分の喜びと感じ、人とつながることの大切さを実感できた若者たちの、はじめの一步を踏み出すお手伝いことができました。

中学生ボランティア	3日間	17人
高校生ボランティア	30日間	204人
大学生ボランティア	1日間	2人
大人ボランティア	50日間	54人

### ☆ 数字で見る1年 ☆

No.	活動分類	団体数
01	保健・医療・福祉の推進	39
02	社会教育の推進	12
03	まちづくりの推進	24
04	学術・文化・芸術・スポーツの振興	34
05	環境の保全	11
06	災害救援活動	1
07	地域安全活動	1
08	人権の擁護・平和の推進	6
09	国際協力	13
10	男女共同参画社会の形成の促進	1
11	子どもの健全教育	20
12	情報化社会の発展	3
13	科学技術の振興	1
14	経済活動の活性化	2
15	職業能力の開発・雇用機会の拡充	1
16	消費者の保護	1
17	運営に関する連絡・助言・援助活動	5



福祉関係の団体が多いのね。



### 登録団体～活動分類～

### センター利用状況

カッコーフェスタの来場者が3000人を越えました。

2010年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来館者	867	783	948	909	864	785	876	4780	899	807	671	591	13780
会議室利用	52	49	53	52	48	49	49	59	48	53	52	37	601
印刷機等利用	64	51	55	55	42	59	67	60	39	52	36	48	628

(開館日数累計: 308日)

「あの手 この手」ふりかえり号 発行日・2011年4月1日

発行・大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館・月～土 9:00～18:00>

〒242-0021 大和市中心1-5-1

TEL: 046-260-2586 FAX: 046-205-5788

e-mail: yamato@ar.wakwak.com

URL: www.kyodounokyoten.com